

(第2回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 6 年 5 月 2 9 日
契 約 業 者 名	(株) 東京建設コンサルタント 北陸支社
契 約 業 者 の 住 所	新潟県新潟市中央区東大通 1 - 2 - 2 3
業 務 の 名 称	R 5 信濃川下流河道計画検討外業務
業 務 場 所	信濃川下流河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	本業務は、信濃川水系河川整備計画における河道計画に関する各種技術資料について、最新の河道形状などを踏まえた更新と整備計画の精査を行うとともに、気候変動を考慮した河道計画検討を行うものである。
履 行 期 間 (自)	令和 5 年 1 1 月 1 日
履 行 期 間 (至)	令和 6 年 1 0 月 3 1 日
変 更 前 の 契 約 金 額	4 7 , 0 6 9 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 3 , 0 4 7 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	5 0 , 1 1 6 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	①遊水地越流堤諸元の精査【増工】 降雨データ資料や流域界等を精査した結果、H23.7型降雨を元に計算した基本高水流量（帝石橋4900m³/s）が新たに有力案として位置づけられたため、H23.7型降雨の基本高水流量のケースで越流堤諸元の追加検討を行う必要が生じたことから、設計変更する。 ②計画高水流量配分案の概略検討【増工】 ①で更新した遊水地の越流堤諸元を踏まえ、平面二次元解析により遊水地設置後の河道通過流量を整理し、これを基に計画高水流量の検討を行う必要があることから設計変更する。 ③基本方針河道（案）の検討【減工】 ①②の検討状況や、基本方針見直しまでの全体スケジュールを精査した結果、次期業務にて実施することが望ましいことから減額する。

（第3回） 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 6 年 1 0 月 2 9 日
契 約 業 者 名	(株) 東京建設コンサルタント 北陸支社
契 約 業 者 の 住 所	新潟県新潟市中央区東大通 1 - 2 - 2 3
業 務 の 名 称	R 5 信濃川下流河道計画検討外業務
業 務 場 所	信濃川下流河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	本業務は、信濃川水系河川整備計画における河道計画に関する各種技術資料について、最新の河道形状などを踏まえた更新と整備計画の精査を行うとともに、気候変動を考慮した河道計画検討を行うものである。
履 行 期 間 (自)	令和 5 年 1 1 月 1 日
履 行 期 間 (至)	令和 6 年 1 0 月 3 1 日
変 更 前 の 契 約 金 額	5 0 , 1 1 6 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 1 1 , 1 3 2 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	6 1 , 2 4 8 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	①戸石地区暫定河道掘削形状の検討【増工】 戸石地区では、過年度より治水安全度向上のための河道掘削を実施しているが、今年5月、小雨により信濃川本川の水位が低下し、過年度工事で河道掘削に伴い移設した取水ポンプにおいて取水障害が生じた。当時は農繁期であり、水位が低下しても取水可能となる河道掘削形状の再検討が緊急的に必要となった。検討においては、複数の河道掘削形状や流量パターンにおける流況解析によりポンプの取水性に配慮した掘削形状を検討する必要があり、これら検討に必要な水理解析モデルを既に構築済みの本業務にて増工する。 ②当面の河川整備における河川整備率の試算等の整理【増工】 本局より、次期5カ年(令和7年度～令和12年度)の河川改修メニューについて、複数の予算条件に応じた河川改修メニューの検討、および河川整備率の試算に関する調査依頼があり、緊急的対応の必要が生じたことから、河川整備率の算定に必要な水理解析モデルを既に構築済みの本業務にて増工する。